

「小・中学生のハローワーク」(職業人による出前授業)

社会 総合(キャリア)

- ・実施日 令和5年2月15日(水) 10:40~12:30
- ・実施校 墨田区立両国中学校 2年生 210名
- ・講師 アナウンサー・消防署 他 地域の協力事業所
- ・内容 職業講話(各教室)・・・生徒は約20名程度のグループに分かれ
下記10種類の講師による講座から、2回選び学習しました。



授業内容(50分×2回) ・講話40分+・質疑応答10分

- ①仕事の内容(やりがい、楽しい事、苦労することなど) ②仕事を選んだ理由
③その仕事に就くために必要なこと ④中学生へのメッセージ ⑤質疑応答

- 【講師】 ①NHK アナウンサー ②本所消防署 ③介護:同愛高齢者総合センター
④発明家:井澤氏 ⑤東京東信用金庫 ⑥ひばり薬局 ⑦保育士:こひつじ保育園
⑧自衛隊江東出張所 ⑨美容師:国際共立学園専修学校 ⑩フィリップ証券(株)



【生徒からの感想】

- ・アナウンサーの仕事は、「話す」「読む」「聞く」「書く」の4つの範囲に携わっていることを学んだ。また、発音を気をつけて台本を読むだけでなく、きちんとした日本語でものごとを伝える力と社会の様々な動きにいつも興味・関心を持っていることも身に付けておかなければいけないのでとても大変だと感じた。
- ・介護には色々な活動があり、十人十色の世界だからコミュニケーション能力や聞く姿勢など、今のうちに高めたほうがいいと思った。相手の幸せを1番に考える!人のことを思うことがたくさんある仕事だということ学んだ。
- ・薬剤師は薬を渡すだけでなく、地域や個々に対しての活動や相談にのったりサポートしていることを知って、薬剤師になるには知識だけではなれない難しい仕事だと思った。
- ・証券会社がどんな会社なのか、どういう仕組みでできているのかなど、大まかに学ぶことができた。投資や株など難しくよく分からないことも多かったけど、分かりやすく説明してくれたので、投資家や企業、証券会社の関係について理解することができた。数学は仕事において大切なことの1つなんだな、ということを知った。
- ・想像していた以上に大変な仕事だと分かった。特に消防士の方がするトレーニングがすごくきつそうだと思った。2時間も階段ダッシュトレーニング等をする考えると怖くて仕方がない。やっぱり消防士さんでも火は怖いらしい。
- ・何をやるにも積み重ねが大事だと思った。自分がつらかった経験も、お客様も、切り終わってもなお思い続けるお客様思いなんだなと思った。最初は難しいことも段々と慣れていくので、今やっていることもあきらめず、続けて誇れる経験を持ちたいなと思った。
- ・起業する上では学歴はあまり関係ない。特許をとることでより簡単に事業を進めて行くことができると学んだ。

【担当の先生から】

- ・どの講師の方も、中学生に向けて丁寧に職業についてのお話をして頂きました。その中には、職業の大変さもありますが、何よりもそれぞれの思いをもってお仕事をされていることが生徒に伝わり、とてもよいキャリア教育となりました。生徒たちにとって、本当に進路を考える絶好の機会となったと確信しております。講師の先生はじめ、お力添えを頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。